



## あのダイヤペットの弟分、 ダイヤロボ・続報

photo:Yoshihiro-HATTORI (服部佳洋)



も往年のトヨタ・ランドクルーザーの「セルフ・カバー」で、もちろんデザインのモチーフとなったのは、1960年にデビューし1984年まで生産されたロングセラーモデル「FJ40系」だ。その名車に対するオマージュとして2003年のデトロイトショーで「FJクルーザー・コンセプト」の名前で発表され、その後2005年のシカゴショーで改めてプロトタイプが登場した後、2006年から北米市場で市販が開始されたという経緯を持つ。当初は北米限定モデルとして市販されたFJクルーザーだが、2010年からは日本でも発売が開始されている。

灼熱の砂漠から極寒の凍土まで、あらゆる環境下を走破しうるタフな4WDとして生を受けたランドクルーザー。そのヘビーデューティなDNAを受け継いだFJクルーザーが、さらにロボに変形するギミックを備えとなれば、年少のファンのみならず、オトナのコレクターとしてもちょっと気になるというものだろう。

株式会社アガツマ  
Tel.04-7126-6611 (お客様相談室)  
<http://www.agatsuma.co.jp>  
<http://www.diarobo.jp/>

1965年のデビュー以来、現存するミニカー・ブランドとしては日本最古の歴史を誇る「ダイヤペット」。半世紀近い歴史を誇るそんなダイヤペットに、その弟分とも言うべきコンセプトの新シリーズ「ダイヤロボ」が誕生したニュースは、先月号でもお伝

えた通りだが、そのラインナップ第一弾の中から今回改めてご紹介するのはトヨタのFJクルーザーだ。ミニカーの全長は78mmで、スケールに換算すれば約1/60。シリーズ全体のスケールは特に統一されていないが、おおむね1/64スケールをベ

スに車種ごとのサイズが決められるという。

ご存知の通り実車の世界ではミニ、ビートル、フィアット500など、往年の名車のデザイン・モチーフを現代に蘇らせるという手法が花盛りであるが、このFJクルーザー



●トヨタFJクルーザー (イエロー)  
¥819(税込)



●トヨタFJクルーザー (ブルー)  
¥819(税込)



●ニッサンフェアレディ Z  
¥819(税込)



●ニッサンフェアレディ Z バトカー  
¥819(税込)



●トヨタハイエース 救急車  
¥819(税込)



●トヨタハイエース 消防指揮車  
¥819(税込)



●トヨタハイエース (シルバー)  
¥819(税込)

「ダイヤロボ」のラインナップ第一弾。パッケージはご覧のようなプリスタタイプ。ちなみに変形後の姿はFJクルーザーがクマ型ロボット、フェアレディ Zが人型ロボット、ハイエースがティラノザウルス型ロボットとなる。



●トヨタFJクルーザー (イエロー/ブルー)  
各¥819(税込)

ダイヤペットから派生した新シリーズ「ダイヤロボ」のラインナップ第一弾は、このFJクルーザー、そしてニッサンフェアレディ Z、トヨタハイエースの3車種。ミニカーの状態では一般的なスケール・モデルに遜色無いリアリティを目指すというのがダイヤロボのコンセプト。ちなみに変形後の姿はこのFJクルーザーがクマ型ロボット、フェアレディ Zが人型ロボット、ハイエースがティラノザウルス型ロボットとなる。ミニカーとしてのスケール感を損なわず、しかも緻密なギミックで変形する様はお見事。

### ダイヤペットの40系ランクル

トヨタFJクルーザーのルーツと言えるのが、1960～1984年にかけて生産されたロングセラー・モデル、ランドクルーザーの40系。1980年代にはダイヤロボの兄貴分に当たるダイヤペットから、その40系ランクルのミニカーが1/30スケールでリリースされていた。ハードトップ、ビッグフット・タイプ、無反動砲を搭載した架空の軍用車仕様など、いくつかのバリエーションがあるが、写真のモデルは製品番号01551 / T-100のオープントップ・モデル。

※モデル協力：ケンボックス <http://www.ken-box.com/> (Tel.03-5767-0877)

